



議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番



総務産業常任委員会で老人ホームを視察（10月11日）

- 平成23年第4回定例会** …… 各会計補正予算、人事案件 など
一般質問 …… 工藤勇議員・制野征男議員
平成23年度第3回臨時会 …… 工事請負契約の締結
〃 第4回臨時会 …… 条例改正
総務産業常任委員会 …… 特別養護老人ホームの視察 ほか

第4回定例町議会

一般質問



漁業者、農業者
の将来性と方向性
を明確に

工藤 勇 議員

質問

基幹産業の漁業、農業者
の所得向上がなければ、商



工業等の安定に結びつかない。この課題に本音で議論するため、町長は地域に出向き町民から具体的な声を聞いて行政の方向性や施策に反映させるべきではないか。

商工会、観光協会、
町内会等相互に
協議している

新村 卓実 町長

答弁

商工会、観光協会、町内会など各団体との協議は重ねています。漁業は磯根資源を中心とした資源増殖対策としてサクラマス、ヒラメ種苗の継続、新たにニシンの放流も実施しております。農業については良食味米の米が生産されており、立茎アスパラも順調です。畜産は飼育牛の市場価格の低迷で経営は厳しい実態です。林業は間伐材の島外移出をしており、今後も補助事業を活用していきたい。医療については南檜山医療再生基金を活用し、道立江差病院との連携の体制作りを進めています。

福祉については「あんしんで生きがいのあるまちづくり」をめざしており、福祉政策発展計画による方向性をもとに政策の実施をしていきたい。

6次産業については漁家、農家の小規模経営から高度な技術と投資が必要なこと、販路についての知識のある企業との対抗は難しいと考えます。地元の加工業者の経営について直接的に参入できない面もありますので、個人、各種産業団体の活力を期待しています。

町民の満足度のとらえかたですが、全国的にも自治体の首長は「行政・まちづくり」に苦慮しているのが実態ですが、どのような状態であろうと首長の責任として対処していかなければなりません。「これぞよいのだ」ということなく行政に臨んでいきます。

町道中央線の改良に向けた対応策を示すべき

工藤 勇 議員

質問

町道中央線については用地の取得の困難性、急勾配を理由として改良事業が中断している実態にあるが、用地調査、路線の変更、工法などの研究はどのようなになっているのか、対応策を明確にしていきたい。



地権者の把握、ルートの方工法の検討はしている

新村 卓実 町長

答弁

地権者は把握しており、路線変更における検討もしており、塩釜団地ルートと現道ルートの2ルートであり、工法についてはループ橋等です。新規事業として申請した場合、2ルートとも50億円前後が見込まれており、財政的な負担から新規事業は中断を余儀なくされています。交通量も多いことから当面、安全対策を含め小規模な補修、改良は施行しています。災害、緊急時の対策として「桜木線」「なべつる線」を指定しており、自衛隊には担当課から連絡調整ができるようになっていきます。

離島振興法改正審議に対応する準備を

制野 征男 議員

質問

離島振興法の目的は、厳しい自然条件により本土との格差が大きく、多くの面で後進性を有している離島の格差を是正することにより、住民生活の安全・向上を図ることにあるが、この法律が期限を迎え改正の動



きがあります。

「離島限定の消費税」「揮発油税の軽減措置」など多面的にわたり、政府に要請・実現を求めなければならぬ。事案が発生しているのは間違いないことと思うので、改正審議に対応する準備、また奥尻町として改正案に盛り込むべき具体策は決めているのかお聞きします。

全国離島振興協議会等を通じて対応する

新村 卓実 町長

答弁



離島振興法は離島個別による案件ではなく日本国内の離島で共通、共有すべき案件に対処すべきであることから、全国・北海道離島振興協議会を通じてその対応策を盛り込んでいくものであると考えている。

具体的には「交通」「医療」「教育」「情報・通信基盤」「防災」「産業」「町財政」を項目立てし、当町の実情を報告し要請している。

パークゴルフ場の 利用促進を

制野 征男 議員

質問

リトルレパークゴルフ場は昨年よりも高い利用があり、利用者の裾野も広がっているが、誰もが利用しやすい施設であってほしいとの願いから9月議会でも枯れている芝の部分的な改修を指摘したが、改善されたコースはありますか。

また、コース会員・認定コースへの申請を含めた観光振興につなげる利用を高める具体策の検討・準備をしているのか伺う。



まずは町内利用者を増やすことに力を入れたい

新村 卓実 町長

答弁

芝については一部張替えをした箇所もあるが、傷んでいる箇所は春に修正する考えです。

また、町としては管理者や個人の方に愛好会・協会

消防無線のデジタル化の延期を

制野 征男 議員

質問

を設立して、最初はパークゴルフ協会の「普通会員」としてスタートし、その利用者の中からコース会員を選任するなど提案したいが、まずは町内利用者を増やすことに力を入れたい。観光対策としては、人気旅行誌に掲載、他町との交流や連携、町内大会の充実など、管理者を含めて今後企画検討していきます。

総務省は消防・救急業務に使う無線のデジタル化を2016年5月までと決めたが、松山7町でもそのためにも多額の経費が必要で、1町で3億円前後の投資を



しなければならず、7町に対する政府の補助はわずか8千万円に過ぎない実態にある。デジタル化をしないで、現行のアナログのままでも業務に支障はないと聞いているが、町長はデジタル化を急ぐ政府の方針の理由はどこにあると考えているか。また、松山町村会ではデジタル化の延期と補助金の増額を要望しているが、現在の動向と見込みについてお聞きしたい。

補助制度だけでも見直してほしいと要望する

新村 卓実 町長

答弁

消防救急無線は電波法に基づき周波数の割り当て計画で、現行のアナログ方式の使用期限が平成28年5月末までとされており、その後は一斉に使用できなくなります。松山町村会において、デジタル化は緊急の課題ではないとして、延期や補助制度の見直しを道議会民主党の政策懇談会や東京に行った折にも会長から要望しています。

しかし、法律事項として決定しているのが、難しい内容と考えているが、全国的にも同じ意見が出ているので、これからは補助制度だけでも見直してほしいと要望していく。

観光協会への支援を明確に

制野 征男 議員

質問

来年度で交付金がきれませんが、3人の職員の雇用継続に対する覚悟が観光協会の幹部にはありません。町は観光協会にどのような対応を指示し、現状から、今後どのような支援をする意向なのか明確にされたい。また、バスキャンペーン事業は実施から11年が経過しており、実施前の乗り入れ台数まで落ち込んでいる面からも見直しの時期に来ており、乗用車の割引制度一本に絞るべきではないのか。



観光協会には相応の支援、バス・乗用車の割引は対応を協議

新村 卓実 町長

答弁

3年前から交付金が切れた4年後の対応について、収益事業に積極的に取り組み、人件費の自主財源確保が課題になることは観光協会には伝えており、努力するとの事は聞いていました。現状はそうようになってい

ないことは把握していることから、町の財政は厳しくなっていることを理解してもらいながら対応を検討していきます。
バスキャンペーン事業の見直し、乗用車の割引については関係者と対応を検討することにしていきます。

平成23年第4回定例町議会は、12月13日に招集され、平成23年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算等を審議し、いずれも可決され、同日閉会しました。

補正予算

□平成23年度一般会計補正予算(第5号)

……原案可決

歳入歳出予算から9千9百66万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を、35億9

百66万7千円としました。補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

地方特例交付金

1百54万4千円

地方交付税

△2千円

国庫支出金

△48万8千円

道支出金

1千42万8千円

繰入金

8千3百10万6千円

諸収入

4百10万1千円

〔歳出〕

議会費

△24万5千円

総務費

1百6万1千円

民生費

9百23万6千円

衛生費

7千1百43万5千円

労働費

△3万円

農林水産業費

1百11万4千円

商工費

7百35万8千円

土木費

2百48万円

消防費

1百52万1千円

教育費

1千1百16万8千円

諸支出金

△4百95万3千円

□平成23年度バス交通事業特別会計補正予算(第1号)

……原案可決

給料△2百88万7千円など合計4百91万9千円を減額し、歳入歳出予算総額を7千4万9千円としました。

□平成23年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

……原案可決

療養給付費8百44万円など合計2千5百85万円を追加し、歳入歳出予算総額を5億4千1百82万9千円としました。

□平成23年度奥尻町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
 ……原案可決

後期高齢者システム改修委託料1億63万2千円など2億25万3千円を追加し、歳入歳出予算総額を3千3百47万8千円としました。

□平成23年度介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)
 ……原案可決

介護保険システム改修委託料5億10万7千円など合計2億4千4百6万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を2億4千51万8千円としました。

□平成23年度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)
 ……原案可決

収益的収入に1千9百17万5千円、収益的支出に1千1百77万1千円を追加し、収入総額で8億2千7百33万8千円、支出総額で、8

億4千6百52万5千円としました。

また、資本的支出に29万4千円を追加し、総額で1千9百39万9千円としました。

条例

○奥尻町表彰条例の一部を改正する条例
 ……原案可決

勤続表彰と功労表彰を統一し、功労表彰の一部を変更するため、本条例の一部を改正しました。

人事

◇奥尻町監査委員の選任について
 ……同意

次の方が議会の同意を得て、再任されました。

奥尻町字奥尻35番地1

佐藤 稟 一 氏

任期 平成24年1月1日

平成27年12月31日



次の意見書を関係機関に提出しました。

◎原子力発電からの脱却と自然エネルギーの推進を求める意見書

◎漁船用軽油にかかる軽油引取税の免除等に関する国への意見書

◎環太平洋経済連携協定に反対する意見書



奥尻高校3年生の皆さん



商工女性部の皆さん

議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか!

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけです。

☆☆☆☆☆ 次の定例会は3月です。☆☆☆☆☆

議会運営委員会

10月11日、11月22日及び12月7日に開会された同委員会の概要についてお知らせします。

(10月11日)

10月11日に開会する第3回議会臨時会の議事運営について審議しました。

会期は1日間とし、当日の議事日程などを決定しました。

(11月22日)

11月22日に開会する第4回議会臨時会の議事運営について審議しました。

会期は1日間とし、当日の議事日程などを決定しました。

(12月7日)

12月13日から開催される第4回議会定例会の議事運営について審議しました。

会期については1日間とし、各団体から要請されていた意見書については、3

意見書について各委員による提案とすることなどを決定しました。

臨時議会

第3回 (10月11日)

その他

○奥尻町水産物流通荷さばき施設新築工事請負契約の締結について

……原案可決

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき議決を行ないました。

【契約の方法】

指名競争入札

【契約の金額】

8千5百74万3千円

【契約の相手方】

株式会社 田畑建設

代表取締役 田畑 昌伸

第4回 (11月22日)

条例

○職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

……原案可決

人事院勧告の給与改定に基づき、本条例を改正しました。

総務産業 常任委員会

10月11日及び11月14日に招集された同委員会の概要についてお知らせします。

■10月11日

【特別養護老人ホームの視察と意見交換】

委員会は施設を視察後に意見交換を行いました。



大橋施設長から設置から「21年が経過していることから老朽化が進み、特にボイラーと配管が傷み、取り替える時期にきている。何とか今年の冬は持ちこたえさせたいが、来年度には交換しなければならぬ。6千万円の見積もりがだされているが、手持ち資金がなく、町の支援をお願いしたい」「デイスービスにユニット型バスを設置したいので工事中です」「デイスービスの時間を午後4時まで

延長することになりました。年間5百万円前後の収益になります」などの報告と説明がありました。



■11月14日

【住民課所管事項】

○特別養護老人ホームの待機者は25人おり、このうち国保病院の入院している者は14人います。

○ホームの施設改良費6千万円について、3千万円の道補助について要望しているが地域づくり総合交付金を活用する方向で良い感触を得ています。



◎渡島檜山地方税滞納整理機構に奥尻町から来年度1名の職員を2年間派遣することになる。

◎今年度末に1千2百万円の不納欠損処分をしたい。死亡、相続放棄、居所不明によるものです。

との報告がありました。

委員から、「差し押さえという法的措置をしなければ不公平感が生ずる。まず、差し押さえをして3年間執行を猶予し、その後不納

欠損しなければならぬものだ。」との意見がだされました。

【地域政策課所管事項】

◎観光客の入り込み数は東北地方大震災、夏場の台風から前年比で9パーセントの減少であり、バスキャンペーン事業も40台減です。乗用車の割引は早い時期のPRの関係もあり増加している。

◎パークゴルフ場は島外からの愛好者にも呼びかけをしている。シーズン券は24人が購入しており、10月末の延べ利用者は1千3百9人です。

◎次年度に向けて防災関連の教育旅行に力をいれたい。

【環境センター所管事項】

◎ごみ焼却施設の10年間のメンテナンスなどにおける収支について説明がありま



した。委員から要請があった全面的な民間委託をした場合と、従来の方法でおこなった場合の相違について詳細な資料に基づく説明がされたものです。将来的に人口が減少していくが、行政上の報告する書面の整理があり、町職員は最低2人以上必要になる。全面委託のほうが従来の運営より1千3百万円高くつくことになる。との報告がありました。

お 願 い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願ひします。

◆送付先 奥尻町字奥尻806番地
奥尻町議会議長 宛

※12月定例会には、奥尻高等学校3年生徒や、商工女性部の皆さんなど、たくさんの方々が傍聴にこられました。

いつもまばらな傍聴席がこの日は満員状態で議会も雰囲気が変わり、おかげでいつも以上に気合いの入っている議員も見受けられました。

さて、今回傍聴した皆さん、議会の様子はいかがでしたでしょうか。今後も機会がありましたら、ぜひ傍聴にいらして下さい。お待ちしております。

また、定例会終了後、奥尻高校生徒から感想文が寄せられました。紙面の都合上2名分しか掲載できませんが、全ての感想文が私たちにも大変勉強になり、よい刺激を受ける機会になりましたので、生徒の皆さんや先生方にまずはお礼を申し上げます。

生徒の皆さんは、春から新生活が始まります。今後の活躍を期待しています。

☆議会見学を終えて

3年 Aさん

初めて議会というものをみて、正直まだ私たちには難しいのではないかなと思っていました。ですが、中学校から今まで6年間、社会科を勉強してきたので、議員の方や町長が何を言っているか、少しは理解することができました。今までテレビで見ていたことが実際に目の前で起きていたのでも感激しました。

議員の方々も町長も、奥尻町をよりよい島にしようという気持ちで伝わってきて、変な話ですが、私の中では少しほっとしたような、安心したような感じがしました。

正直、今までは議会というものに興味がありませんでしたが、今回、議会見学という機会をいただき、奥尻町のことだけでなく、日本の情勢について本当に考

えさせられました。これから大人になっていくうえで、日本の良い面や悪い面がはつきりわかるようになってくると思います。そのためにならぬと勉強して、今、何が起きているのか、どのようにしなければならぬのかを考えるようにしていきたいと思えます。

今回、議会見学という機会をいただき、本当にありがとうございました。



☆議会見学を終えて

3年 Bさん

今回、町議会を見学させ

ていただき、とても良い経験になりました。

内容が私たちの住んでいる島についての話ということもあり、なるほどと思うことばかりでした。また、自分たちの町の話ということもあり、地域の方々も傍聴しにきていて、町民の方々からも自分たちの町をより良いものにしたいという気持ちで伝わってきました。また、町の予算額を聞いて、そんなに多くのお金がかかっているということに驚きました。今まで自分が当たり前のように使っていた公共施設も、見学した時のようにして予算が決定しているということを知り、すごいなと感じました。

議員の方々も、産業や観光業などいろいろな方面から意見を出して、間違っている点や改善できる点をつかりと話し合い、奥尻の将来を考えて島を元気にさせようという気持ちを感じ

られました。話し合いの中で意見がぶつかりたりすることもありましたが、やはりそれはみなさんが良いものにしたいという熱意があるからこそだと思えます。そういった熱意のある人のいる議会は、もっと良いものになっていくのではと思います。

今、私はあまり政治などには興味はありませんが、今回の議会見学を通して自分たちの町にもっと目を向けて、私も奥尻を良いものにできるように頑張りたいと思います。



議会のうごき

10月

- 1～2日 自衛隊函館地方協力本部創立55周年記念行事（函館市）議長出席
- 6日 平成23年第2回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）議員2名出席
- 11日 議会運営委員会
- 11日 第3回議会臨時会
- 11日 総務産業常任委員会
- 17～18日 檜山町村議会臨時議長会（上ノ国町）議長出席
- 19～21日 ハートランドフェリー要望用務（札幌市）議長出席

11月

- 14～17日 第30回離島振興市町村議会議長全国大会・第55回町村議会議長全国大会（東京都）議長出席
- 14日 総務産業常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 22日 第4回議会臨時会

12月

- 7日 議会運営委員会
- 13日 第4回議会定例会
- 22日 広報編集特別委員会
- 22～23日 平成23年第3回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）議員2名出席

編集を終えて

12月議会は傍聴席が満員状態の中での審議で、やはり沢山人がいると独特の雰囲気、自分自身も背中に視線を感じ、いつもと違う緊張感でした。

さて、今回は年1回の恒例となった奥高の3年生が傍聴に訪れ、後日感想文をいただき、じっくりと読みました。

それはこの「議会だより」に掲載する文章の選考のためですが、選ぶというよりは皆さんの着眼点のレベルの高さに驚き、読み入っていました。

特に多かったのは、テレビで見た国会と町議会の比較で、もちろん制度やシステムが違いますが、自分が高校生の時、国会をテレビで見たことないな～と感じたし、他にも「これからは自分の生まれ育った地域に貢献していきたい」等、頼もしい言葉が多く嬉しく思いました。

卒業後ほとんどの生徒が島から離れると思いますが、心から「頑張れ！」とエールを送ります。

広報編集特別委員会（S）